

日本海洋学会 2014 年度第 2 回幹事会 議事録（案）

日時：2014 年 5 月 19 日（月）13：35～17：00

場所：パレスサイドビル・マイナビルーム K

出席者：植松会長、須賀副会長、小畑、河野、山中、久保田、鈴木、津田、原田、神田（記録）、事務局・毎日学術フォーラム（出戸、平坂）

議題：

1. 議事録（案）確認（神田幹事）

2014 年度第 1 回幹事会、2014 年度春季評議員会、2014 年度通常総会の議事録を承認した。

2. 審議事項

(1) 入退会について（小畑幹事）

2014 年 2～3 月の入退会を承認した。入会 3 名、退会 125 名、逝去 0 名、2014 年 3 月末現在会員数 1683 名。減少が大きいのが、春季大会発表のための入会者が 4 月に算入されるため、その分は回復が期待できるという説明があった。退会者に「海の研究」投稿中の者がいるため、久保田編集委員長から会員の継続について意向を確認してもらうこととした。

(2) シンポジウム等の後援・協賛等について（小畑幹事）

後援・協賛等 4 件について承諾したことが報告され、幹事会として承認した。

(3) 募集・推薦等の依頼について（小畑幹事）

公募・推薦の依頼 8 件、シンポジウム・講演等の案内 1 件、その他 8 件について、ML 配信その他の対応をしたことが報告された、承認した。資料 5 の 5-6 について誤記を訂正した（「気象変動」→「気候変動」）。

(4) 会費 3 年未納者について（小畑幹事）

該当者 45 名のリストが示され、自動退会の対象となることが報告された。学会で活動中と考えられる会員には、幹事が分担して退会対象となっている状況を知らせ、意志確認することとした。

(5) 事業年度について（小畑幹事）

春季大会（通常総会）が概ね 3 月中に開催されている現状と、会則の規定（事業年度は 4 月 1 日～3 月 31 日、年度終了後 2 ヶ月以内に総会を開催する等）が齟齬をきたしているとの指摘があったことを受けて、対応策を議論した。会則や事業年度の改訂によって生じる問題点を精査し、秋季評議員会に向けて改訂案を出す方向で検討することとした。

(6) 2014 年度選挙の予定について（山中幹事）

資料に基づきスケジュールの説明があり、承認した。2012 年に実施した名簿情報の確認方法を踏襲することとした。

(7) 2014 年度若手集会助成について（須賀副会長）

3 件の申請があったことが報告され、それぞれの申請内容について審議し、3 件全てについて 1 件あたり 10 万円の助成を行うことを承認した。なお、助成金の使途については報告書を精査し、今後の募集方法等の改善を図ることとした。

(8) 第 5 回日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦について（須賀副会長）

1 件の推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、学会として推薦することを承認した。なお推薦書等の原案は候補者の指導教員に依頼することとした。

(9) 2015 年度春季大会実行委員長・大会実行委員委嘱について（鈴木幹事）

資料に基づき説明があり、横山辰夫気象庁地球環境・海洋部長を大会実行委員長に、また矢野敏彦海洋気象課長はじめ 11 名を大会実行委員として委嘱することを承認した。

(10) 2014 年秋季大会準備金について（鈴木幹事）

2014 年春季大会実行委員会から 100 万円超（正式な寄付金額は追って連絡）を学会に寄付する申し出があったことが報告され、寄付を受け入れると共に、このうちの 100 万円を秋季大会実行委員会に対して大会開催費として支出することが承認された。秋季大会の大会開催費は既に支払った 40 万円とあわせ合計 140 万円となる。

### 3. 報告事項

(1) 会長（植松会長）

マスタープラン関係の動向、海洋学会の若手育成策、SCOR の International Indian Ocean Expedition (IIOE)-2 への対応、升本会員による JPGU での海洋学会の震災対応についてのプレナリー講演での説明、Global Marine Assessment への専門家推薦、財政健全化、JO の印税額確定について報告があった。

(2) 副会長（須賀副会長）

海洋未来技術研究会による海外渡航援助について、前期採択分 2 件のうち 1 件は完了し、後期の募集は 6 月頃開始予定である。若手支援に関連して、春季大会における若手の懇談会についての紹介があった。

(3) 庶務（小畑幹事）

三賞受賞候補者選考委員に先の評議員会で承認された石丸隆会員に加えて宗林由樹会員を、論文賞受賞候補者選考委員に齊藤宏明会員 河宮未知生会員を追加委嘱することについて、評議員会でメール審議中である。

海洋学会宛に來ている公募推薦等の実績表が示され、文部科学大臣表彰の科学技術賞、若手科学者賞などについて、会員への周知と選考手順について検討すべきであることが報告された。ML で周知して手を上げてもらうが、幹事会からも学会賞受賞者に声をかけるなどして、学会から継続して推薦していくようにすることになった。

才野敏郎会員の逝去に伴い欠員となった評議員について、次点者から繰り上げで補充する。

(4) 会計（河野幹事）

著作権使用料等の実績額、JO ロイヤリティの見込額について資料に基づいて報告があった。

(5) 編集

・JO（小畑幹事）

日比谷幹事作成の資料に基づき、順調に発行していることが報告された。春季評議員会の承認を受けて、8月1日から論文掲載料（会員2万円、非会員5千円）の課金を開始する。2013年のJOの定期購読状況および印税支払予定金額がSpringerから通知された。

・海の研究（久保田幹事）

順調に刊行しており当面の論文も不足はないが、印刷経費等の関係で控えていた投稿の呼びかけを再開して掲載予定論文を確保する。昨年度の受賞論文については全て原稿が提出されている。

・NL（津田幹事）

順調に刊行している。4・2号は編集中であるが、ページ数に比較的余裕があり、6月第2週を締め切りの目処として引き続き原稿を募集する。新名誉会員の紹介、（要請があれば）逝去会員の追悼文等の掲載も行っていく。

(6) 研究発表（鈴木幹事）

2015年度秋季大会は愛媛大学の武岡会員を実行委員長として、開催時期等を検討中である。

(7) 広報（原田幹事）

ホームページに行事予定欄を設けていることが報告され、掲載すべき内容等について意見交換した。

(8) 海洋環境委員会（鈴木幹事）

春季大会中に委員会を開催した。青い海助成事業の募集について引き続き検討中である。

(9) 日本地球惑星科学連合（原田幹事）

原田幹事、日比谷幹事が理事に就任した。

(10) 震災対応（神田幹事）

水産学会が放射能汚染関係の書籍を出版する計画である。

(11) 水産・海洋学研究連絡協議会（津田幹事）

5月21日に協議会を開催予定である。

(12) 大会運営検討WG（鈴木幹事）

基本的な考え方について、引き続き検討する。

(13) 海洋観測ガイドラインWG（河野幹事）

4月17日にWGを開催し、運営方針、提案書の内容についての検討事項を議論した。

河野幹事が座長、岡幹事が記録を担当することが決まった。

次回幹事会 7月25日(金) 13:30～ パレスサイドビル・マイナビルーム 9F・B